

---

# 私のような人間にも母はやさしかったんだ

まちのしじん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

私のような人間にも母はやさしかったんだ

### 【Nコード】

N6873S

### 【作者名】

まちのしじん

### 【あらすじ】

41歳無職中年。うつ。頭皮が気になる。非常に気になる。

今思うと若かりし頃（前書き）

昭和の話をしましょう。

カセットテープとか。

開けるときもパシヤッ

セツトする時もカシヤッ

手間にも仕草にも恰好があつた。

未来の世にはライターなくてもたばこ吸えたりして  
アランドロンのたばこをつける仕草は恰好よかつた。

## 今思うと若かりし頃

「みのる、おめでとう。」  
父は言った。

社長としてではなく、父として言ったのだと思う。

私はそれを、社員として受け取った。

子供として聞いたら父に悪いような気がした。

気を遣わなくても私はあなたを裏切らないって事を伝えたかったのかもしれない。

19歳。

親のすねをかじれるやつとかじる場所すらわからないやつとの差なんて全然わからなかった。

私は41歳後厄真つ最中の中年無職。

ヒモ。

パラノイア。

うつがひどい。

心臓が飛び出そうになるのは過呼吸という。

こいつは一番きらいなやつ。

少しやさしい部類のやつらは肩コリや、外に出たくなくなるとか、俗に言う引きこもり。

天気の良い日は少ししんどい。

18歳。

県内でもワースト3には入る高校を卒業後、今でいうIT系の専門  
学校へ。

一年でやめて車欲しさに就職。

親のコネでコンピュター系（当時から花形）の会社に就職。

女まわりはよく、2か月で会社受け付け嬢と良い感じに。

美人だけど鼻が大きくて黒眼が大きい、なんかAKBにあんな感じの子いたよな、

SDNだったかな？

まあ、半年くらいは会社の近くに住む彼女の家に転がり込む。初めての同棲生活。

親以外を気にしながらの愛の営みは窮屈と興奮が半々だったように思う。

なぜかクリスマス4日前に前彼と復縁により被弾。

生まれて初めてのすっごい痛い失恋だった。

後にも先にもイテテってなる恋はあれ以来ないな。

当然会社も辞める方向へ。

雰囲気を知った同課の上司がボーナス前になぜか退社勧告。しつこかった。

「彼のボーナスはお前らの課が割り勘で出せ」

18歳の若い私にはあまりきつい言葉ではなかった。

今こうやって回想するととてもひどかった言葉や、出来事が理解できる。

とにかく私は若かった。

そして、とにかく私は生れてはじめての無職になった。

そしてパチプロという名目で親の金をせびるようになる。

母は優しかった。

デパートの荷下ろしのバイトに行くという嘘をわかっていながら私に昼の弁当を作った。

ウソってわかってるんだよな。母ってそうゆうもんだよな。

今はそう思うが、当時は上手な嘘をついてるつもりだったんだろう。パチンコは強かった。

しかしそれで食っていけるほど甘くはない。

専門資格のための教材代や車の故障、いろんな名目で得た金は銀玉と軽そうなコインに化けて

黒く小さな穴ぼこに吸われていった。

もちろん働くことも考えたし、短期のバイトなんかよくやった。ただどれも続かない。

私にはパチプロとしてのパチンコで食っているという美德、そんなナノレベルのプライドがあった。

小説も書いたし、詩も書いた。

ある有名アーティストの環境問題プロジェクトで歌詞募集があった。私のがんばった。言葉を紡いで字数を合わせて詩を歌詞にした。自信があつた。美しい詩だった。

そのバンドに似合うロックテイストあふれる詩だった。もちろん落選。

採用されたのは81歳のおじいちゃんの詩だった。

ぜんぜんロックじゃなかった。

シヨックだったけど送られてきた手紙が手書きだったのと、誉められてるとすぐにわかる内容で何か気分良かった。みんなに自慢した。

順位なんてなかったのに準優勝だったって嘘をついた。今でもキャバクラでは同じ嘘をたまにつく。

20歳。

ビールより断然コーラの方が好きだった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6873s/>

---

私のような人間にも母はやさしかったんだ

2011年10月9日00時26分発行